

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	595 林業振興経費	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	02	林業費
		目	02	林業振興費
基本施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する	細目	320	林業振興経費
		細々目	51	林業振興経費
行革大綱の重点事項番号		2		
担当部課	コード	700100		担当者氏名
	名称	大山田支所振興課		
		竹岡章裕	連絡先	47 - 1157 (内線)

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	森林及びその所有者	※対象件数
成果(どうする)	森林巡視業務により、林道の現状把握や保全管理を行うことができ、さらに災害等による通行障害に対し早期に対応できる。	
根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱	
開始年度	昭和 50 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H22 事業内容	森林保全業務及び大山田連絡所維持管理の経費を下記のとおり支出した。 森林管理巡視業務委託料: 189,000円 委託内容: 大山田管内の林道を定期的に巡視し、適正な維持管理に役立てる。 伊賀森林組合助成金: 486,000円 助成内容: 大山田連絡所の運営、維持管理のための助成。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
森林巡視	回	回	目標 16	目標 16	12	12
			実績 16	実績 18		
事務所開設日数	日	日	目標 245	目標 245	245	245
			実績 245	実績 242		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
巡視による路肩崩落等の通行障害や不法投棄の報告回数	回	回	目標 20	目標 20	15	15	
			実績 32	実績 17			
造林事業等相談、林業経営相談、環境創造事業相談の開催	回	回	目標 16	目標 16	16	16	
			実績 16	実績 16			

投入コスト	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
直接事業費計(A)	863	675	800	800
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	0	0	0	0
一般財源	863	675	800	800
事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)	2,303	2,115	2,240	2,240

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
<p>法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業</p> <p>個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業</p> <p>特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業</p> <p>事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業</p> <p>市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業</p> <p>市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業</p> <p>国や県、民間が同様のサービスを提供している事業</p> <p>市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業</p> <p>民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業</p> <p>受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業</p> <p>事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業</p> <p>【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】</p>	<p>森林が持つ公益的機能が再認識される中核的役割を果たす森林組合の経営基盤を強化することは重要であり、地域林業に精通した森林組合が専門知識・技術を付与することで、林業後継者育成、森林の適正管理を図ることができ林業振興につながる。</p>
<p>財務状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業</p> <p>【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】</p>	
<p>事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。</p> <p>基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。</p> <p>サービス水準や対象を見直す余地がある。</p>	<p>○</p> <p>森林組合の持つ専門知識・技術の付与で森林の適正管理や造林事業、間伐事業等の各種事業への取り組みが図られている。また、定期的巡視は隣地崩壊等の早期発見につながり、森林が持つ公益的機能が維持されている。</p>
<p>当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】</p> <p>予算の繰越の有無 無</p> <p>【予算の繰越がある場合、繰越の種類】</p>	
<p>他の事業主体の活用、事業移管が可能である。</p> <p>基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。</p> <p>【事業名】</p> <p>受益者負担を求められることができる事業である。</p> <p>全体コストにおける負担構成は適正である。</p> <p>コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。</p>	<p>コスト削減は、巡回回数や相談会開催回数の減少につながるため、現行水準を維持。</p>

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	平成22年度中に森林組合助成金のあり方について本庁と検討する。
昨年度の取組状況	<p>【状況】 計画のとおり進んでいる</p> <p>【詳細】 本庁と検討した結果、地域性も考慮現状どおりとする。</p>

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	西口敏之
事業の方向性	<p>【方向性】 現状維持</p> <p>【理由】 大山田は伊賀市においても特に林業の盛んな地域であり、今後も地域林業に精通した森林組合が専門知識・技術を付与することで林業後継者育成・森林の適正管理が図れ、当地域の林業振興につながってきたい。</p>
現時点における課題、その他	森林組合の助成金のあり方について、見直しを行うよう財政課及び総務課より指示を受けている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	大山田地域の林業振興拠点施設のため現状維持とする。